

第2回 ライフサイエンススタートアップ・エコシステム構築推進事業に係る
公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会 議事要旨

令和4年7月8日（金曜日）

1. 日時及び場所

○書類審査及びプレゼンテーション審査

令和4年7月8日 午前10時から午後12時30分

ライフサイエンス産業課会議室

2. 審査方法

あらかじめ定めた審査基準（公募要領に記載）に基づき、3名の選定委員が書類審査及びプレゼンテーション審査により100点満点で総合評価を行った。最終的に各選定委員の評価を集計し、評価点数の平均が60点を超える提案者のうち最高得点の者を最優秀提案事業者として選定。

3. 審査対象者（提案者）

（1）有限責任監査法人トーマツ 大阪事務所

（2）株式会社シード・プランニング

4. 議事要旨

- ・ 選定委員会の公開・非公開について審議（非公開に決定）
- ・ 審査方法及び審査基準の確認
（総合評価点の平均が60点に満たない場合は選定しない旨を確認）
- ・ 企画提案部分について、提案者が15分間のプレゼンテーションを実施
- ・ その後、選定委員から10分間の質疑応答を実施
- ・ 審査の結果、「有限責任監査法人トーマツ 大阪事務所」を最優秀提案事業者に決定

【主な委員意見】

- 最優秀提案事業者はこれまでの事業実績を踏まえ、拠点間連携を深めていく上でのネットワークを有しているとともに、今後、事務局を運営していく上での運営能力がより優れていた。
- また、最優秀提案事業者は、他提案者と比較し一般的なスタートアップエコシステムに関する知識や支援実績等を豊富に有しており、本事業を実施するうえでの人員体制も充実していることから、それらを総合的に勘案し最優秀提案事業者とした。
- なお、事業実施にあっては、一般論ではなく、大阪府のライフサイエンス分野に特化した課題を最優秀提案事業者自身がより深く認識した上で、各拠点が今後、自律的・継続的・有機的につながるよう、各プレイヤーの役割を明確にした具体的なアクションプランが作成されることを期待している。

5. 選定委員会委員の氏名及び選定理由（五十音順）

所属・職名等	氏名	選任理由
日本公認会計士協会近畿会 公認会計士	坂口 建太	企業会計や経営の専門家としての知見を活かし、審査していただくため
特定非営利活動法人バイオグリッドセンター 関西 理事	坂田 恒昭	ライフサイエンス分野に関する知見に基づき、提案の実現性、実効性について審査していただくため。
国立大学法人大阪大学 共創機構 渉外部門長	正城 敏博	産学官連携、技術シーズの実用化についての経験を活かし、提案の実現性、実効性について審査していただくため。